

第3次岩手町立小中学校の再編（統合）に関する指針（案）パブリックコメント実施状況

No.	ご意見	ご意見に対する回答	指針への反映等
1	<p>2月20日に開催された標記の件についての川口地区の懇談会でも発言させていただきました。児童生徒が少なくなっていく現状で、早急に統合に向けて事業を進めるべきだと思います。</p> <p>当然、反対意見の住民もいますが、中学校は最低でもクラス替えができる生徒数が必須条件であると思います。</p>	<p>第3次指針策定後、本指針に基づいて、住民合意の下で中学校の再編を進めて参ります。</p>	<p>ご意見をいただきました中学校再編（統合）につきましては、第3次指針案の中で趣旨を表記しています。</p>
2	<p>将来的には、中学校3校の統合が望ましいが、まずは沼宮内中学校と一方井中学校の統合を早急に実現していただき。沼宮内中学校校舎の耐久年数も限界であるし、一方井中学校の教育環境の厳しさ（生徒が専門教科の教員から学べないこと、部活動の選択肢があまりにもないことなど）から、日程的に難しいとは思いますが、5年以内の統合を強く望みます。</p>	<p>中学校の再編（統合）につきましては、これまで第2次指針に基づいて、一方井中学校と沼宮内中学校の統合に向けて進めて参りました。しかし、これまでの懇談会等において住民合意とまで至らず第2次指針での再編（統合）が難しい状況となっています。</p> <p>このことから新たに第3次指針を策定し、特に中学校の再編（統合）に重点を置いて進めようとするものです。</p> <p>これまでの懇談会において多数の意見でもありました新たな中学校の建設と3校同時による再編（統合）の推進を図るとともに、また、新たな中学校の校舎の建替え期間等も考慮して進めて参ります。</p> <p>ご意見の教育環境につきましては、一方井中学校の生徒数の推移では、ここ数年は著しい減少は見込まれていないことから現状の学級数、教員数及び部活動は維持される見通しです。</p>	<p>ご意見をいただきました中学校再編（統合）につきましては、第2次指針での再編（統合）が難しい状況に鑑み、中学校の建設と3校同時による再編（統合）の推進を図る趣旨とする第3次指針を策定し、合意形成を図りながら推進して参る趣旨を第3次指針案の中で表記しています。</p>
3	<p>第3次学校再編に向け少子化の町として、適正規模の教育編成を貫いて欲しいと思います。</p> <p>重点は町民理解、視点は「子どものため」を考慮して進めて欲しいと思います。</p> <p>中学1校制は多くの課題が山積みです。競争や磨き合等刺激も失われ、町内1校制の乱れは現実です。（過去の県内校）</p> <p>統合するに於いての子どもたち、地域間交流、スムーズ化の取り組み等の配慮</p> <p>閉校後の「施設管理や活用法」を地域住民が納得するような計画・方針を作っていたければ。</p>	<p>第3次再編（統合）指針の策定にあたっては、少子化の現状を踏まえ子どもたちが磨き合える環境として、クラス替えが可能となる中学校再編（統合）に向けた方針を策定する予定としています。</p> <p>また、再編（統合）に向けた準備として、学校間交流や地域間交流等も実施しながらスムーズ化を推進して参ります。</p> <p>閉校後の施設の活用につきましては、これまでの閉校施設と同様に、地域住民のご理解をいただきながらその活用方法を検討して参ります。</p>	<p>ご意見をいただきました適正規模の教育編成につきましては、少子化の現状を踏まえ、子どもたちが磨き合える環境として、クラス替えが可能となる中学校再編（統合）を趣旨とする内容で第3次指針案の中に表記しています。</p> <p>また、再編（統合）のスムーズ化や閉校後の施設活用につきましては、第3次指針の中では表現しないものの再編（統合）に向けた準備として、各中学校間での工夫した取り組みを推進して参ります。</p> <p>また、閉校後の施設の活用につきましては、これまでの閉校施設と同様に、町全体としての施設のあり方や活用方法を地域住民のご理解をいただきながらその方向性を検討して参ります。</p>
4	<p>知・徳・体のバランスのとれた円滑な人間づくりのために大切なことは何か。</p> <p>これからは1学級当たりの人数についても見直しては。（15名前後が複数学級つくるのもよいと思う）</p> <p>各地域に学校があることも大切と思う。</p> <p>運動会、合唱など大人数が望ましい時、合同する。</p> <p>中学校が1校となった時の通学方法は、不登校の子供たちの教育環境にも配慮する。</p> <p>以下、この度の主題からずれるかもしれないが、都会での学校生活で苦勞している子供、家族が田舎の学校に転校してこれるような町づくりは岩手町に求められていないだろうか。</p> <p>空き校舎を利用した、生涯学習環境を視野に入れた計画が必要では。</p> <p>少なくなっていく子供達一人一人を大切にしていって、これまでの教育制度のよくなかった部分を真摯に見直して生きたいと思います。</p>	<p>第3次再編（統合）指針の策定にあたっては、少子化の現状を踏まえ、子どもたちが磨き合える環境として、クラス替えが可能となる中学校再編（統合）に向けた方針を策定する予定としています。</p> <p>統合後においては、知・徳・体のより良い育みや、また、不登校の子供達への支援等バランスのとれた学校運営に配慮して参ります。また、遠距離通学となる生徒には、スクールバス等で対応して参ります。</p> <p>岩手町の特徴である自然環境に触れる機会が多い学びは、都会の子供たちにとっては新鮮でのびのびとした環境で情操教育が育まれるものと捉えており、今後、岩手町に住んで子育てがしたいと思われるように、岩手町らしい教育環境づくりを進めて参ります。</p> <p>空き校舎の利活用については、岩手町の全体の課題として捉え、生涯学習環境も含め、検討して参ります。</p>	<p>知・徳・体のバランスのとれた円滑な教育や学級人数の適正化、各地域への学校設置、不登校への対応等のご意見をいただきました。</p> <p>第3次再編（統合）指針の策定にあたっては、少子化の現状を踏まえ、子どもたちが磨き合える環境として、クラス替えが可能となる特に中学校の再編（統合）に重点を置いた方針を策定する予定としています。</p> <p>ご意見をいただきました教育環境につきましては、第3次指針において具体的な取り組みは表記しないものの、今後、岩手町総合発展計画、学校運営の方針等に基づきながら、子供たちにとってより良い教育環境となるよう進めて参ります。</p>